

野瀬病院広報誌 Vol.13

イノセンス INNOCENCE

真っ直ぐバカ正直に

2020.January

2020年の方針と抱負

- ▷ 院長から皆様へ
- ▷ 副院長・診療部長よりご挨拶申し上げます
- ▷ 野瀬のご近所さん
- ▷ 日本で一番安心・安全な病院とは？
- ▷ この街で快適に住まう秘策!～地域包括ケアシステムとは～



医療法人社団 十善会
JYUZENKAI GROUP

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。新年の初頭にあたり、まずはご挨拶申し上げます。本年も十善会野瀬病院を、どうぞ宜しく願い申し上げます。2019年は、現在の新病院に移転して5年目を迎える年でした。振り返るならば、改めて自分達の足元を固め直す事が大切だと、色々な意味で実感出来る勉強になった一年でした。順風満帆とは言えませんが、法人としては成長できる要因が多く、満足のいく年だったと思います。今年はオリンピックが東京で開催される年です。昨年はラグビーワールドカップがありましたが、毎年のように世界的なスポーツの大会が国内で開催されており興奮が続きます。皆様にとりまして、今年一年が健やかで素晴らしいものになりますように、お祈り申し上げます。

2020年法人としての目標

昨年の教訓によって固めた足元・足場をベースにして、大きくではなくても、一步一步前進出来る様にしていきたいと思えます。少しずつでも確実にステップアップ出来る様な、一年にしたいという想いです。

2020年のスローガン



作：林 郁花(フミカ)

2019年の個人的な出来事

個人であれば、皆さん知っての通りラグビー！ラグビーワールドカップ2019が日本で開催され、神戸でも試合が開催された事で、色々な形で携われた事。感動の瞬間を間近で感じられました。自分がラグビーをしている事で、ボランティアメディカルスタッフとして携われた事が本当に心に残っています。



※全世界？にテレビ放映された晴れ姿です

医務委員会と観客として

player welfare という言葉がラグビーにはあります。選手達が安全に安心してプレーを出来る様にする、その場で障害・事故・怪我に遭わない様にすることを第一に考えるのが、ラグビーメディカルスタッフとしての信念・使命なので、医師として職務に携わる時は、感情を出しては駄目と堅く誓っています。あくまでも『おもてなし』ボランティアスタッフの精神で（とは言っても、感動して目頭が熱くなりましたが・・・）取り組んでいます。純粋にそこに徹する事が出来た充実感是非常に大きかったですね。一方、観客としても現場に行きましたけれど、ラグビーを応援に来ている世界中の観客の人達が、本当に純粋に『ラグビーを見る』事を楽しまれていたと感じました。敵味方関係なく、ラグビーを見る事を楽しむ。勿論味方（自分のひいきのチーム）を応援する事も大事だけど、見る事を楽しもうと出来る事がラグビーの良さだと感じました。世界中の応援団と、言葉は分からなくても色々な意味で交流を深める事ができて、単純に日本でラグビーを応援するだけでは感じられない・味わえない経験をさせてもらいました。ラグビーワールドカップというのは、世界の人々が参加している事で全く違う感動を味わう事が出来て大満足でした。



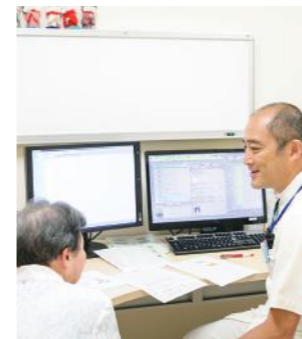
2020年個人の目標

一つは（昨年のトピックでも話した）素晴らしいラグビーという競技を観戦して気持ちが昂ぶったモノもあるので、自分ももう少し…自分の歳なりでも、体力に見合ったラグビーをプレーしたいなと思います。それと、もっと色々なラグビーの現場に関われる様にしたいのが一つの目標です。あとは勿論家族は大事ですので、…実は今年家族の大事な時期…受験を迎えるので、精一杯…精一杯、というか「さりげなく」サポートして、良い結果が得られればと楽しみにしています。頑張るのは本人なので、僕はさりげなくサポートが出来ればと…。それはある意味ラグビーの精神にも通ずるモノで、さりげなくサポートする事でベストのパフォーマンスを引き出せる様に、家族も支えたいなと思います。



皆様へ

僕が常に思っている事は、僕たちみたいな小さな病院あるいは法人でも、色々な経験を重ねた事によって、今現在の姿になれたという事です。ここで培った、良かった事や悪かった事も全て、自分達のモットーである地域医療や地域のヘルスケアに根ざす、『愛情・丁寧・親切』の精神を基に、それこそさりげなくサポート出来る様にしたいですね。地域の人達が安心して「この地域に居て良かった」と思ってもらえる様な、頼ってもらえる様なパートナーになりたい気持ちです。「野瀬さんがあるから、この地域で過ごしていて良かった」と思ってもらえる様に、さりげなくサポートさせて頂きたいと思えます。今年も真っ直ぐに努力して参ります。



新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。新年の初頭に際してご挨拶させていただきます。

院長・診療部長も今年の話題と言えば、東京オリンピックを挙げるでしょうね。自身も他に漏れず、昨年のラグビーワールドカップロスを乗り越えて、今年は東京オリンピックがあり、その後はワールドマスターズゲーム2021関西・大阪万博が控えています。日本がスポーツや文化的イベントを機会に、もっと元気になっていける様に、我々医療・介護に携わる者として、何らかのお力添えが出来れば幸いです。

新病院に移転して5年が経過し、節目の年を越えました。一重に地域の皆様や関係者からのお力添えの賜物だと思っています。慢心する事なく、もう一度ここで初心に帰り、新病院移転時の気持ちを大切に、関係する皆様にささえて頂いた事への感謝の気持ちを改めて思っております。再度気持ちを新たに、今年も頑張っていきたいと思っております。

また、病気の早期発見のための健康診断、万が一病気になった時は治療やサポートを行い、そして将来介護が必要になった時にはそのお手伝いを切れ目なく担える様な、スムーズな流れが作れる事を目指して行きたいと思っております。本年もどうぞ、宜しくお願い致します。

2020年個人の目標 (自分は東京までオリンピックを見に行けないので…。診療を空ける訳にはいきません 笑)

今年の子年で僕自身昭和47年生まれ、年男です。昨年は40年振り且つ医師になって初めてインフルエンザに罹りました。そのうえ初夏には骨折（これは人生初めて！入院・手術を経験しました）し、健康や体力の面で反省させられた一年でした。今年で五回目（0歳を1回目の年男とすれば）の年男になるので、これを機に自分の体・健康に気を遣って、改めて生活を見つめ直すのが今年の目標です。普段患者様に言っている事で、不摂生を断つ事・運動不足を解消するなど、自分自身が出来ていなかった事が昨年の結果なので…。やはり日頃の健康管理は大切だなと、身をもって再確認しました。もう五回は年男を迎え、計十回迎えると108歳！生涯現役で活躍できる様にも、自分を見直すのが今年の個人的な目標です。



皆様へ

昨年個人としては反省の一年でした。ただこの地域としては合同庁舎が完成し、長田自体が変わりつつあります。高速道路の開発等の話も挙がっているなか地域の更なる発展に、自分達も微力ながらお手伝い出来る事を見付け、この地域の力になりたいと思っております。

現在長田区の高齢化率は高いですが、この地域が活性化され、発展し、全国のモデルケースになれる様に盛り立てていきたいと思っております。

新年のご挨拶

皆さま、明けましておめでとうございます。2020年の初頭にあたりご挨拶申し上げます。

今年はいよいよ待ちに待った東京オリンピックが開催されます。早いもので、つい先日オリンピック招致レースの中、東京がオリンピックの招致を勝ち取った時からあっという間に時間は流れ、オリンピック開催もあと200日を切ろうとしております。

私が野瀬病院に入職したのもその頃で、入職間もない頃に泌尿器科に関する勉強会で滝川クリステルさんの「おもてなし」をネタにお話したこともつい昨日のように思い出しますが、時の経つ速さには驚愕さえ覚えます。その間、当法人は病院を移転するとともに、旧病院跡地やその他の場所にも新たな事業を立ち上げ、皆様のお役にたてるよう努力して参りましたが、種々のお立場の方から色々な温かいご支援や身の引き締まる厳しいご意見も頂きました。

これまで本当にたくさんの方々から当法人を支えて頂いたことを振り返ると感謝の念に堪えません。昨年には当病院の隣地に新長田合同庁舎もでき、この町の人の流れも新たなものとなっております。新たに当法人を知って頂く方々も増え、これからはさらに法人内外含め「ワンチーム」となりこの新長田の発展と安心のために尽力し、その恩返しが出来ればと考えております。今後とも何卒宜しくお願い致します。

2020年個人の目標

私の個人的なことも少しお話をさせていただきます。昨年で私も46歳となりました。

未だに若いつもりでおりますが、体は益々いうことをきかなくなり、悔しながら老いを感じずにはおれません。体重もOKg増え、ズボンのベルトの穴も1個延ばさないといけなくなりました。

今年は一念発起し自分の肉体改造にも取り組まないといけないと考えております。



皆様へ

新年にあたり、今年も十善会の事を宜しくお願い申し上げます。

私は泌尿器科を担当しておりますので、排尿に関して何か困った事がありましたら、是非、野瀬病院を利用していただければと思います。

宜しくお願い致します。



特集 野瀬のお隣に新長田合同庁舎がやってきました

兵庫県と神戸市が共同で整備してきた新長田合同庁舎が去る、令和元年7月に当野瀬病院隣接地に完成しました。

兵庫県・神戸市の各部署や一般財団法人も居を構える8階建て。納税証明書や所得・課税証明書、固定資産関係証明書などの取得や、市税に関する手続きや相談など、市役所と区役所の税務関係を集約。

未永く街のシンボルとなり、長田区・近隣地域に一層の賑わいをもたらしてくれると期待したいところです。

そんな中、今回は新長田合同庁舎の1階にある大きなスペース『兵庫県立神戸生活創造センター』にスポットを当てて、ご紹介いたします。

編集者メモ

総工費約90億円、工事期間1年8ヶ月を費やし完成したそうです。

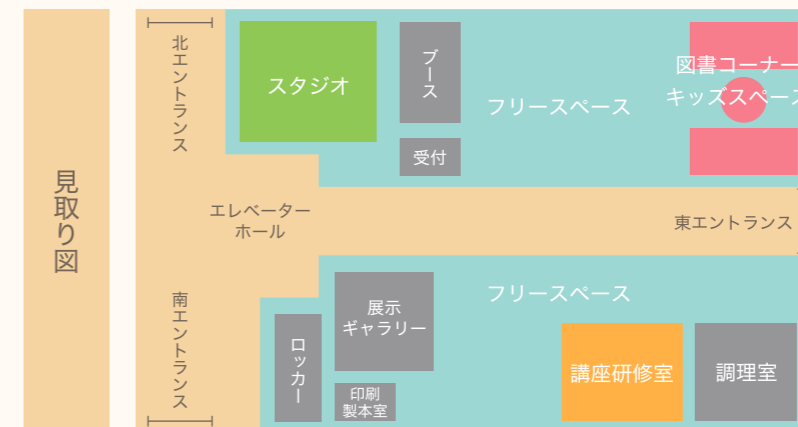
環境にも配慮した設計で、空調の負荷低減を図り、建物中央の吹き抜けは、風も通り光も入って気持ちいい空間になっています。

「まちとつながる庁舎」をテーマに、1階には玄関が3カ所あり、「アスタくにつか5番館」には、2階から歩行者デッキで行き来できますよ。

兵庫県立神戸生活創造センターってどんなところ？

神戸生活創造センター(下図参照)内は、優しい色を基調とした柔らかい内装で、時間を忘れてリラックス出来そうです。

図書コーナーでの読書、ブースやフリースペースでの打ち合わせ、研修室や調理室を使つてのアクティビティなど、非常にバラエティーに富んだ使用者の用途に合わせた多目的な造りになっています。くらしや趣味、芸術に関する講座、子育て応援の企画もセンター内で行われており、自分にピッタリの活動がきっと見つかるはず!是非広報誌「ピピンしんぶん(センターに常設)」を手にとって下さい。



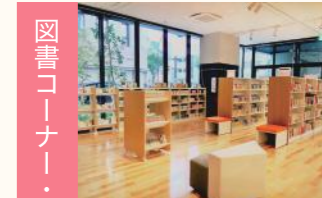
今回、神戸生活創造センター所長 藤川様にも、お話を伺う事が出来ました。

『今回合同庁舎の完成と共に、神戸駅前から移転して来ました。世代を超えた皆様の地域活動の拠点・第3の居場所を目指して参ります。長く皆様に愛される様に、ご利用をお待ちしております』



お問い合わせ

Tel:078-647-9200 Fax:078-642-1051
Mail:info@kobe-sozoc.com



編集者メモ

ノーアポ訪問でしたが、非常にご丁寧に対応して頂きました。ありがとうございました。野瀬病院はこれからも、応援して参ります。次回の特集もお楽しみに!

天災は忘れた頃にやってくる…

阪神大震災から今年で25年目を迎えます。

自分が自分で出来る事を。まずは自身の命を守る事が最優先です。

三陸地方には、津波発生時に“波てんでんこ”“命てんでんこ”という言葉が継がれています。

『てんでんこ=各自ばらばらに』という意味で、『自分の命を守る行動を取る』『津波が起きたら、他人を気にせず逃げる』という解釈ですが、“てんでんこ”延いては『共に逃げる』『他者も逃がす』の行動に結び付く事になります。

日ごろから『ばらばらになった時の集合場所や非難経路を話し合っておく』事が重要ですね。

阪神・淡路大震災、東日本大震災などが発生したように・・・
自然災害はいつ、どのように起こるのか、誰にもわかりません。

KOBE 防災ポータルサイト「SONAE to U」

気象警報や雨量、河川水位などの災害気象情報のほか、道路情報や公共交通機関の運行状況、ライフライン情報等を確認することができます。

また、災害に関する知識、避難行動や日頃の備えなど、大切なものを守るための情報が掲載されています。

ご家族で避難先について確認する、ローリングストックなどを活用して食料備蓄をする、地域の活動に参加するなど、身近にできることからかまいません。ぜひ、このポータルサイトをご覧ください、「備え」への取り組みにお役立てください。『いざという時の安全行動につなげていただくために。』

神戸市危機管理室（神戸市危機管理センター 2階）
TEL 078-322-6232 / FAX 078-322-6031

SONAEの
to
U 防災について、
気軽に楽しみながら、
考え、行動する。



www.kobe-sonae.jp



日本一安心・安全な病院を目指して

震災や災害で困る事と言うと…水が出ない、火が使えない、灯が点かない、世に言うライフラインが断絶した状態は勿論、数え出すとキリがありません。心が休まる場所・安心出来る空間も重要です。病院も例外ではなく、治療やリハビリを継続的に提供出来る環境は基より、患者様の安全を守る事・地域の方にも開かれた場を準備する事が大切だと考えます。

『日本一安心・安全な病院を目指して！』

をスローガンに今年も邁進して参ります。



災害に備えた講習や訓練の様子

当院では災害に備えた講習・訓練等を毎月行っており、年に2回は大々的な避難訓練を行っております。

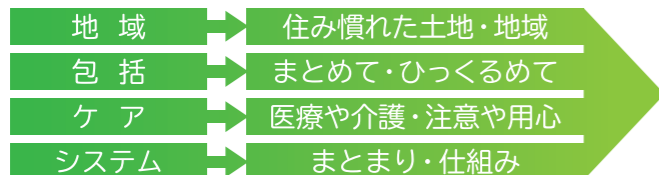
昨年末にも病院全体を活用して、模擬患者の救命・移送等の防火防災訓練を実施しました。

院内の患者様・関係者様をはじめ、地域の方には災害時の避難場所としても、是非当院をご活用ください！

この街で快適に
住まう秘策！

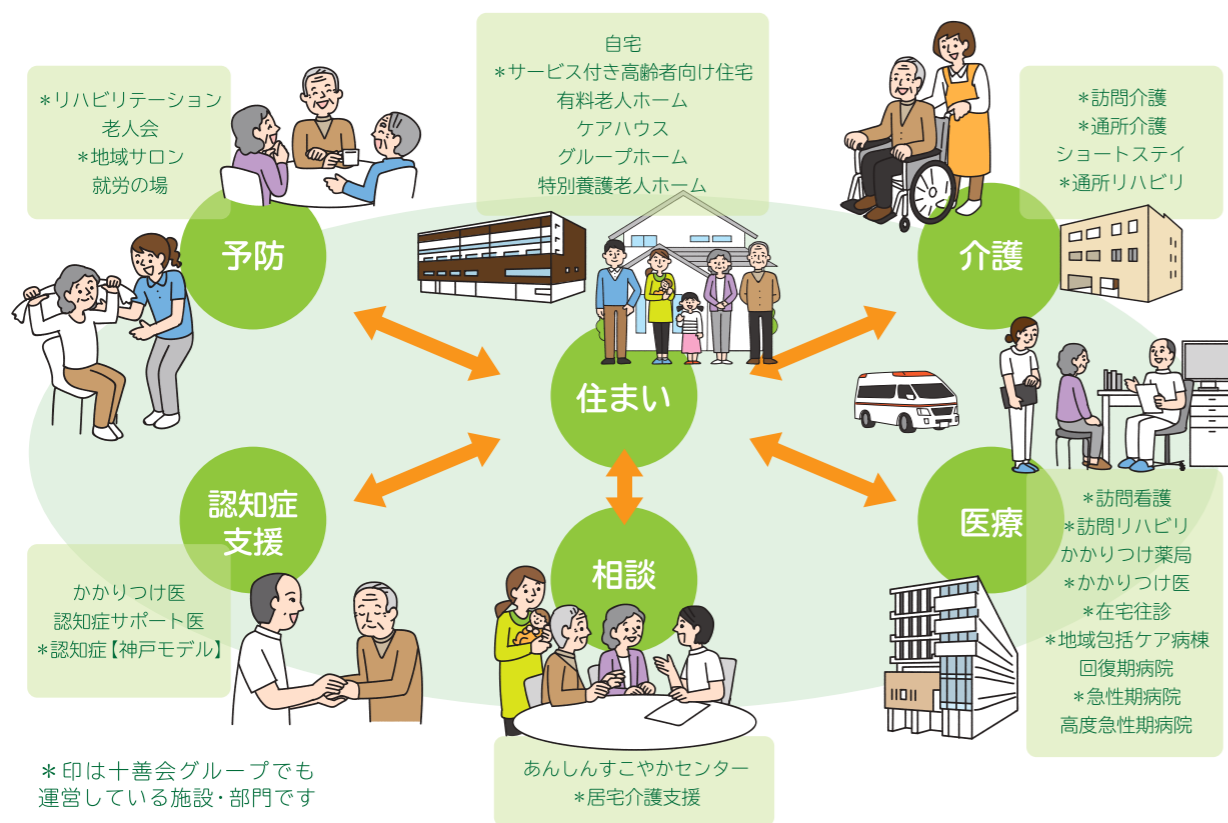
～地域包括ケアシステムとは～

昨今唱えられている『地域包括ケアシステム』一体なんのこっちゃ？という声を皆様からも多数頂戴しております。言葉を分解してみると…



地域の皆で、
地域の皆を用心し合い
補い合う仕組み

が見えて来ます。老いも若きも、女性も男性も、自分が支える側であり支えられる側でもある。みなさんはすでに、環(わ)の一員なのです。



『野瀬は止(よ)せ』からの脱却

当十善会は、初代医院長 野瀬 善三郎が昭和 10 年に野瀬外科病院として開設しました。一昔前まで野瀬病院は「前(出入口)から入ると後(勝手口)からしか出られない」と囁かれる、世に言う老人病院でした…。

ですが『愛情・丁寧・親切』の法人の理念は揺るぐ事はなく、直向きに目の前の出来事と向き合ってきた事で、地域・患者様からのお声を頂戴した結果が、現在の新病院であり実直な組織の姿だと思います。医療・介護だけでなく、各分野が充実する事によって病院が活性化し、病院が活性化すれば人が集まり志が生まれ組織が充実する。充実した組織・病院の姿は、より周囲からの信頼を得られる。この循環を“みなさま(患者様・地域・職員等、全ての関係者)”の肌で感じて頂ける事で、当院の良さに改めて気付いて頂ける様に、日々取り組んで参ります。

『野瀬は止せ』から『野瀬の良さ』へ!!

地域包括ケアシステムの中でも、当法人が担えている部分が数多くあります。来号からは、その一つ一つを紹介する事で、より皆様にとって使い勝手の良い・辛いところに手が届く法人(病院)で居れる様に、活用して頂けると幸いです。



※令和2年2月17日より下記診療体制に変更致します

診療時間	平日	午前 9:00～12:00 午後 17:00～18:30
	土曜	午前 9:00～12:00
休診日	土曜午後・日曜・祝日	
面会時間	10:00～20:00	

診療時間		月	火	水	木	金	土
午前診	受付開始 8時30分	整形外科 荒木 大輔	整形外科 野瀬 範久	整形外科 野瀬 範久	整形外科 福井 友章		整形外科 野瀬 範久
	9時 ～ 12時	循環器内科 野瀬 貴久		循環器内科 野瀬 貴久	循環器内科 野瀬 貴久	循環器内科 野瀬 貴久	循環器内科 野瀬 貴久
午後診	受付13時～16時 14時～17時				循環器内科 福家 啓起		
	受付開始 16時30分	整形外科 野瀬 範久	整形外科 野瀬 範久		整形外科 野瀬 範久		
	17時 ～ 18時30分		循環器内科 福家 啓起	循環器内科 野瀬 貴久	循環器内科 野瀬 貴久	循環器内科 野瀬 貴久	泌尿器科 野瀬 隆一郎
		泌尿器科 野瀬 隆一郎		泌尿器科 野瀬 隆一郎		泌尿器科 野瀬 隆一郎	

アクセス

JR 神戸線・神戸市営地下鉄 | 新長田駅より徒歩 10分
 神戸市営地下鉄 | 駒ヶ林駅より徒歩 3分
 新長田合同庁舎前交差点を東・1つ目の交差点を北へ




医療法人社団 十善会
野瀬病院
 TEL 078-641-2424 (代表) FAX 078-641-2624



野瀬訪問看護ステーション
つながり
 TEL 078-611-3211 FAX 078-611-3212
 〒653-0042 神戸市長田区二葉町5丁目1番36号



野瀬まごころ診療所
 TEL 078-631-0556 FAX 078-621-0555



野瀬訪問介護ステーション
ゆかり
 TEL 078-641-5000 FAX 078-641-2018

野瀬サービス付き高齢者向け住宅
やっぱりここ
 TEL 078-641-6541 FAX 078-641-5541
 〒653-0041 神戸市長田区久保町3丁目9-7



居宅介護支援事業所
つながり
 TEL 078-641-2222 FAX 078-641-3333

野瀬通所介護施設
Lien りあん
 TEL 078-641-6800 FAX 078-641-6888
 〒653-0041 神戸市長田区久保町3丁目9-1



ウェブサイトは
QRコードから

